

会社の概況

商号	株式会社ミマキエンジニアリング
設立	1975年8月
資本金	43億5,746万円
事業内容	コンピュータ周辺機器及びソフトウェアの開発・製造・販売
従業員	連結1,984名/単体809名

役員一覧 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	池田 明
代表取締役社長	池田 和明
専務取締役	竹内 和行
常務取締役	三宅 洋
取締役	羽場 康博
取締役	清水 浩司
取締役	牧野 成昭
社外取締役	蓑毛 誠子
社外取締役	山田 一郎
社外取締役(常勤監査等委員)	善野 洋
取締役(監査等委員)	田中 規幸
社外取締役(監査等委員)	田中 誠
社外取締役(監査等委員)	荒井 寿光

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

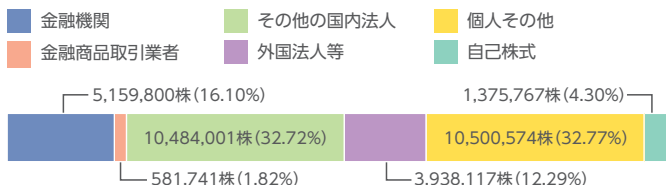
株式の状況

発行可能株式総数	128,160,000株
発行済株式の総数	32,040,000株
株主数	5,174名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	4,497,200	14.67
有限会社田中企画	2,330,000	7.60
田中 規幸	2,026,800	6.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,611,500	5.25
東京中小企業投資育成株式会社	1,524,000	4.97
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	1,471,900	4.80
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,440,400	4.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,140,800	3.72
株式会社八十二銀行	840,000	2.74
アデキパートナーズ株式会社	833,200	2.72

所有者別状況



郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	当社ホームページ(https://ir.mimaki.com/)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6638

(ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

BUSINESS REPORT 2019.3

2019年3月期 第44期報告書
2018.4.1-2019.3.31

「新しさ」と「違い」

M1000



Mimaki
株式会社 ミマキエンジニアリング



証券コード
6638

私たちは、独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を柱とした市場志向の製品開発により、デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーを目指しています。

経営ビジョン

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。

3

市場に常に「新しさの違い」を提供するイノベーターを目指します。

4

各人が持っている個性・能力を力一杯発揮できる企業風土を目指します。



ミマキが目指す組織と企業像

代表取締役会長
池田 明



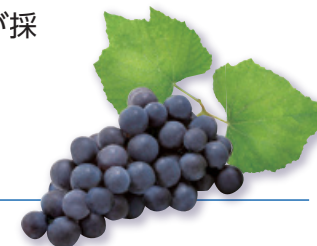
代表取締役社長
池田 和明



イノベーターの集団でありつづけるために、そして各人が持っている個性、能力を力一杯発揮し、マーケットの潜在ニーズを素早く捉え解決するために、当社では経営企画・技術・営業・生産・管理の5本部体制のもと、小集団によるグループ別独立採算制を追求するGIPS経営を行っています。

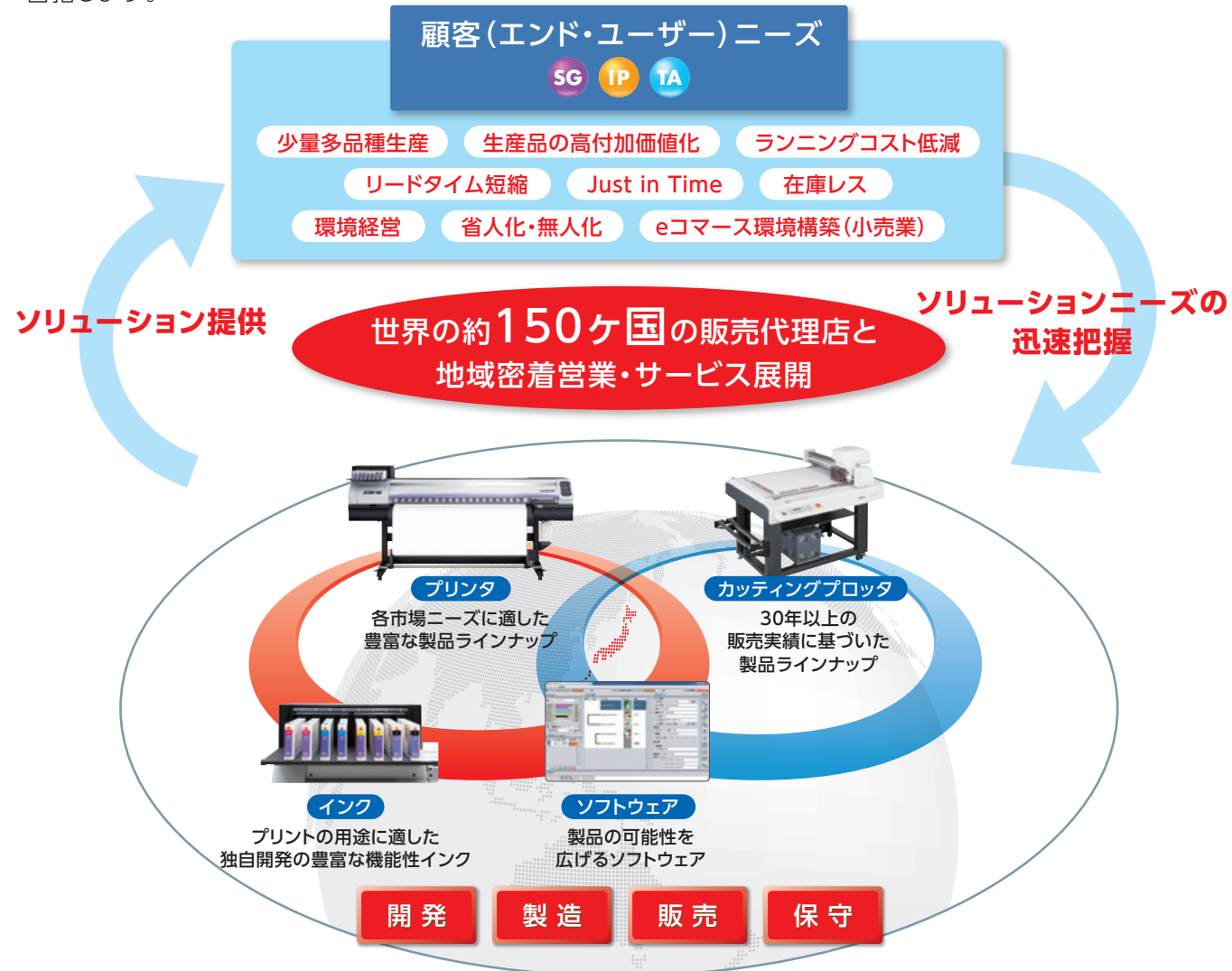
GIPS (Group Independent Profitability management System) では、各グループが明確な役割と責任を持ち、それぞれがあたかも町工場であるかのように自主的に活動します。

そして各グループの活動成果としての付加価値を明確にし、各グループにおいてリーダーを中心に自部門の採算向上を実現するため、各グループのメンバー全員が問題点を共有し、その解決に当たります。これらを通し社員全員が経営に参加し、一人ひとりが採算意識を持ち、信頼をベースにした葡萄の房のような小さな果実の集合体にしていきたいと考えています。



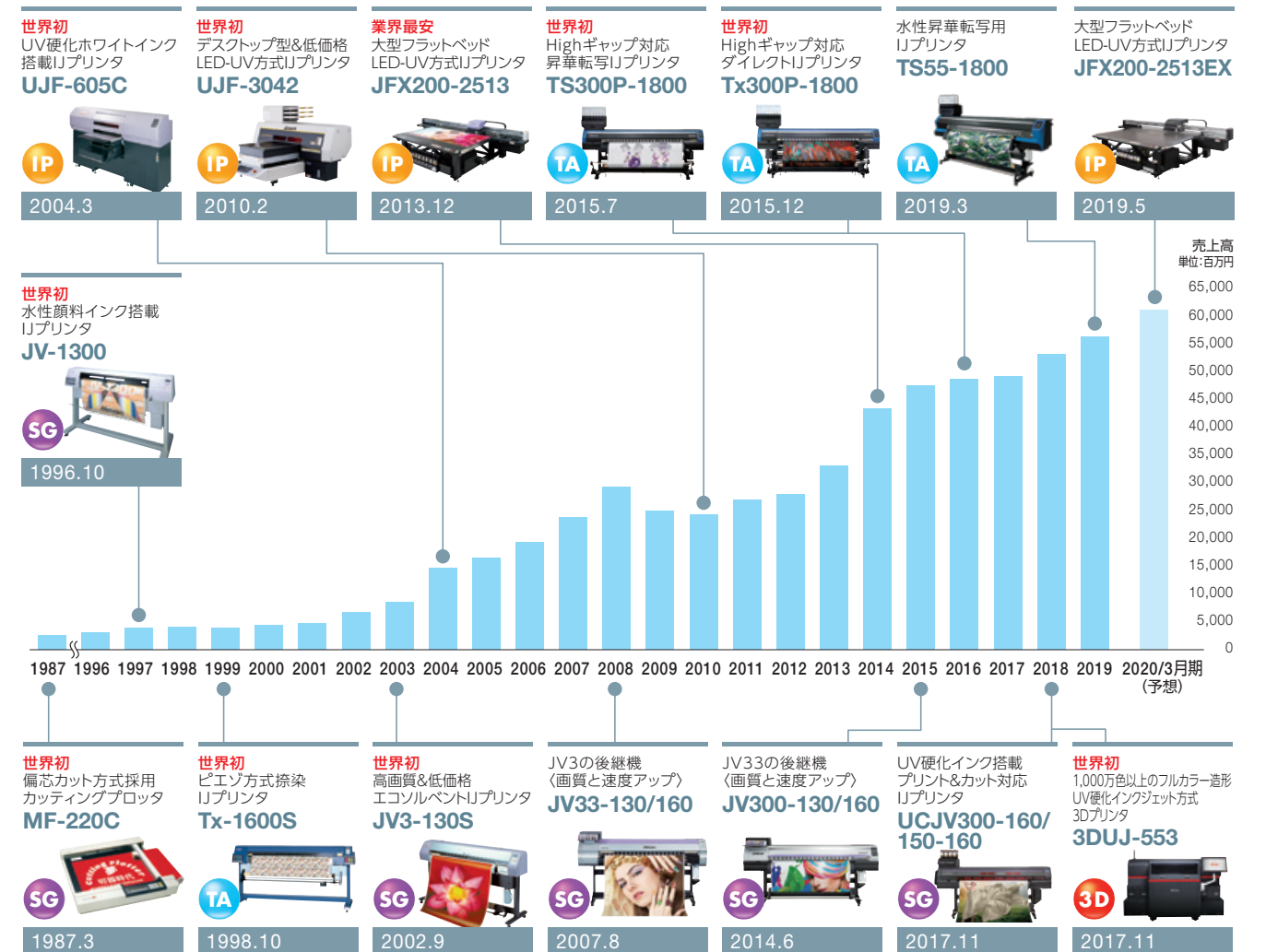
市場ニーズに合わせたトータル提案

当社は、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービスを一貫して行う開発型企業です。独自のラスタ技術(インクジェット等)とベクター技術(カッティング等)を駆使してデジタルオンデマンドプリントのさらなる進展を推し進めるとともに、顧客満足を提供できる開発型企業を目指します。



Mimakiの歩みはイノベーションの歴史

デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーとして、多様なニーズを迅速かつ的確に捉え、そこに狙いを絞った製品を素早く提供することで、今後も新たな市場と顧客を創出してまいります。



3つの販売市場に向けての製品提供とFA事業展開

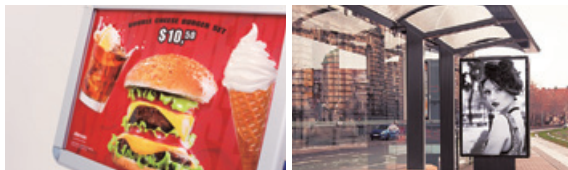
各市場の各プレーヤーにとって最適な製品を常に提供し、各市場を拡大させます。

SG

Sign Graphics サイングラフィックス

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど

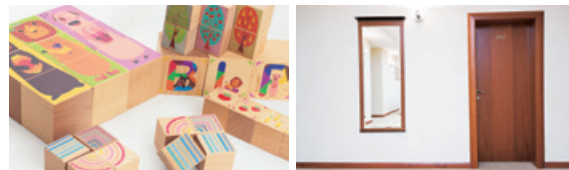


IP

Industrial Products インダストリアルプロダクツ

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダークッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など



TA

Textile & Apparel テキスタイル・アパレル

裁断・縫製加工前の生地や既製服などファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹



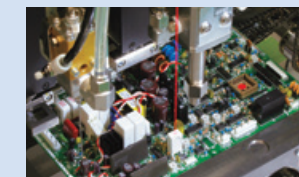
FA

Factory Automation ファクトリーオートメーション

ベクター技術、メカトロニクス技術を基に5つの事業を展開。



FA装置事業



基板実装装置事業



金属加工事業



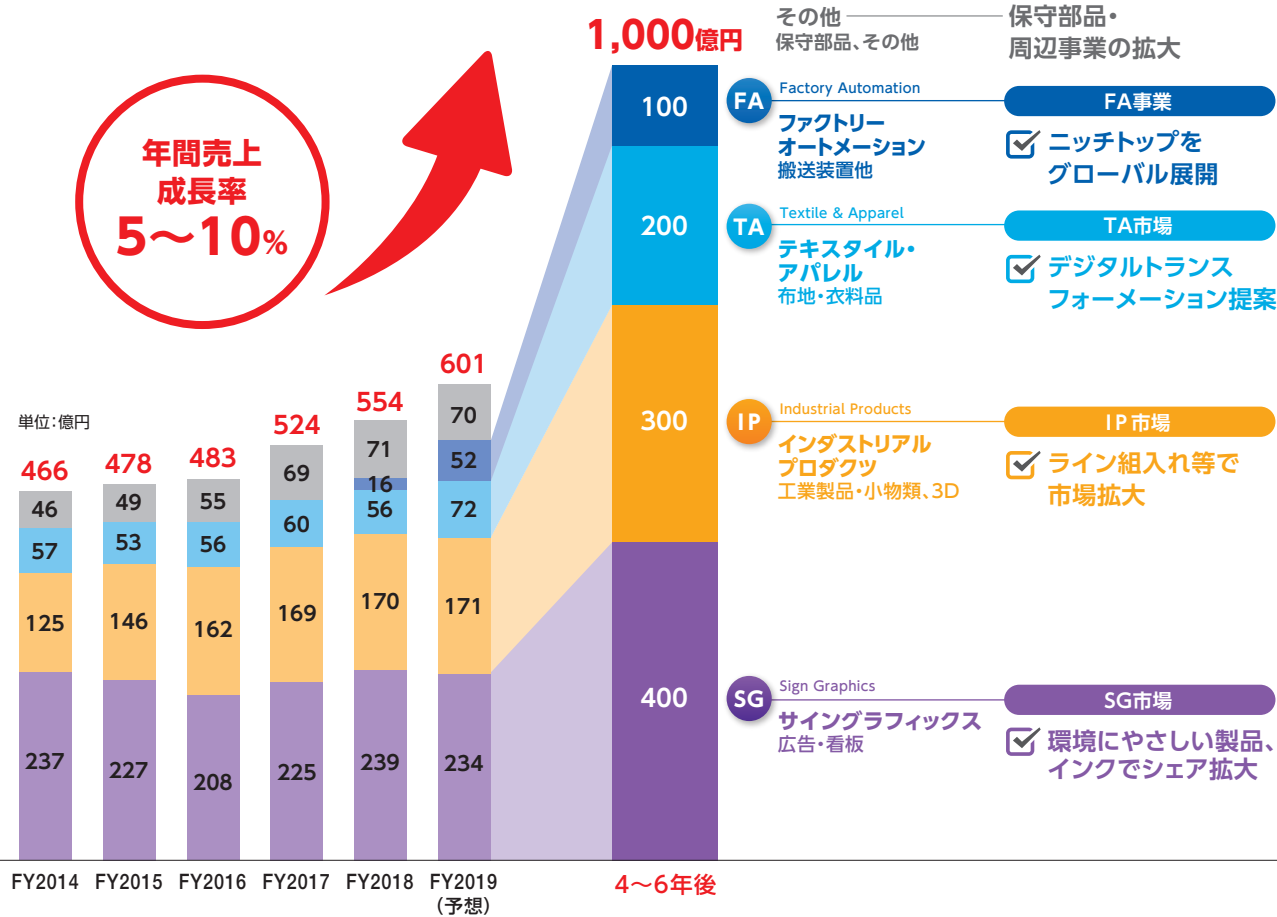
半導体製造装置事業



基板検査装置事業

M1000 3.0 / 「新しさ」と「違い」

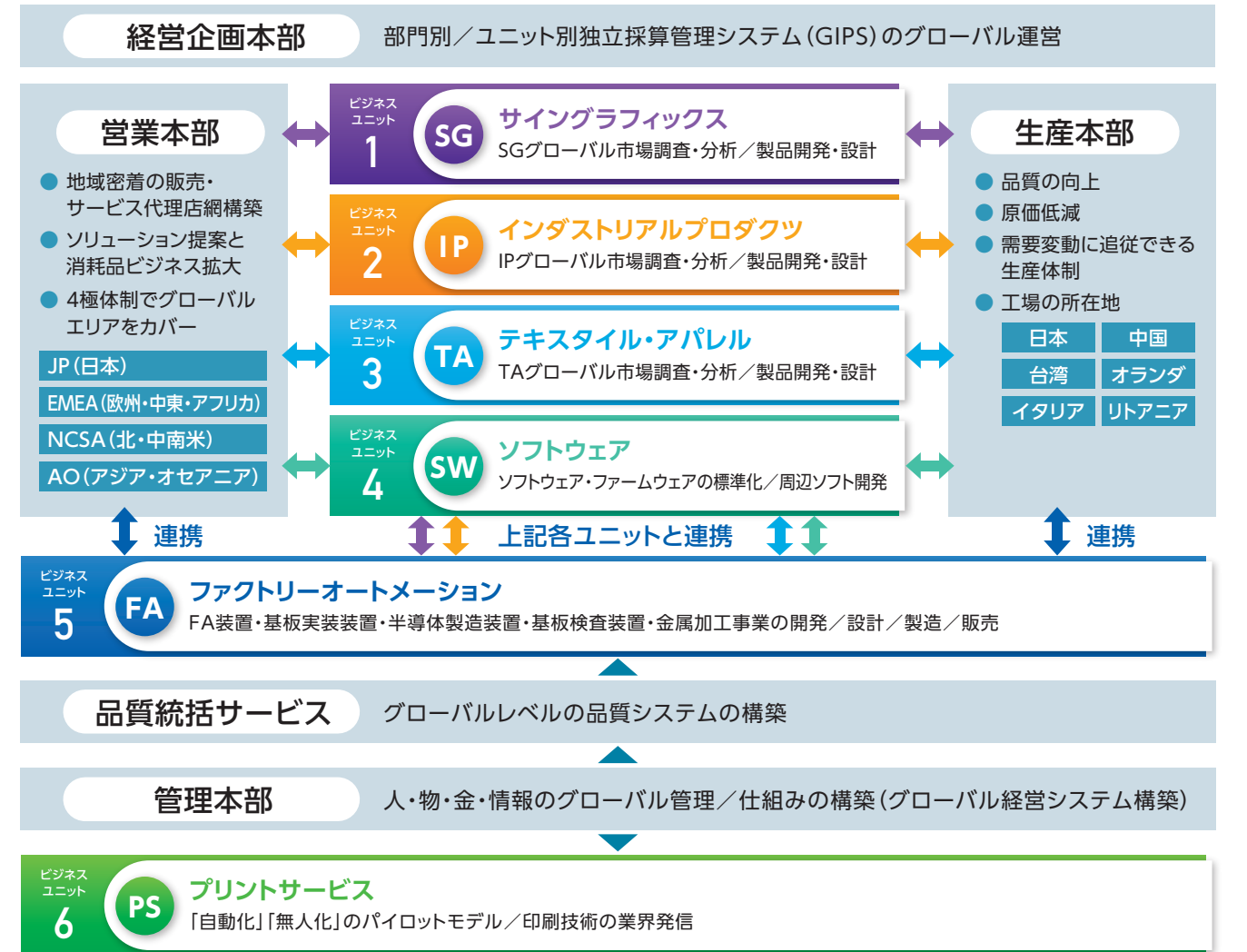
年間売上
成長率
5~10%



当社はこれまで、「新しさ」と「違い」を提供することを経営ビジョンとして掲げ、革新的な製品の開発・製造・販売を通して産業用インクジェットプリンタの市場を創造してまいりました。
 今後も各市場の顧客にとって最適なソリューションを提供し続けることで、年商1,000億円超の「真のグローバル企業」を目指します。

6つのビジネスユニット / 事業部制の新設

市場部門と開発部門をビジネスユニット / 事業部で括り、各々の採算性を明らかにすることで経営効率を高めてまいります。また、M&Aで獲得した新たな経営資源であるFA事業部とPS事業部においてはシナジー効果を早期に実現できるよう努めてまいります。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
第44期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の株主通信を
お届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 池田 和明



Q 2019年3月期の業績について

2019年3月期の連結業績は、売上高554億48百万円(前期比5.7%増)、営業利益30億8百万円(同10.2%増)となり増収増益を果たすことができました。

市場別売上高に関して、2017年11月に発売開始したUCJVシリーズの貢献によりサイングラフィックス(以下、SG)市場向けが前期比で大幅に増加しました。テキスタイル・アパレル(以下、TA)市場向けは前期比で減少しましたが、これは品質面で万全を期すために新製品「TS55-1800」の市場投入時期を遅らせたためです。同製品は既に各品質評価項目をクリアして2019年3月から発売を開始しています。

エリア別売上高は、総じて順調です。これまでシェアで見劣りしていた北・中南米市場も販売チャネル改革が進み、為替影響を除いた現地通貨ベースでも拡大基調が定着しつつあります。日本・アジア・オセアニア市場では、新たに連結子会社化したアルファードザイングループと株式会社楽日第4四半期から売上高に寄与し、前期の売上高を大きく上回りました。なお、連結子会社化の影響を除いた場合でも前期の売上高を上回ることができています。また、欧州・中東・アフリカ市場では英国のEU離脱問題の影響等があったものの前期並みの売上高を確保することができました。

利益面では、新興国通貨(トルコリラ、ブラジルレアル等)の下落が利益率を押し下げる要因となりましたが、それを補う増収効果により営業利益と経常利益で前期を上回ることができました。なお、「親会社株主に帰属する当期純利益」が減益となったのは、前期中に税効果会計の見直しを行った結果、一時的に法人税等負担率が大きく低下したためです。

Q 2020年3月期の業績見通しについて

2020年3月期(以下、今期)の連結業績予想は、売上高601億円(前期比8.4%増)、営業利益21億50百万円(同28.5%減)の増収

減益を見込んでいます。減益となる理由は、為替前提を円高(1\$: 110.91円→107円、1€ : 128.40円→122円)に見ることに加え、懸案となっている中国での販売シェア復調に向けて、中国市場のニーズに見合った価格設定と販売チャネルの再構築に本格的に取り組むためです。

今期の増収に大きく貢献するのはTA市場向けの製品です。TA市場に向けてのインクジェットプリンタ導入台数は年々増加傾向にありますが、未だ9割以上がアナログプリントです。当社グループでは、単に「アナログ」から「デジタル」への転換を促すだけでなく、バリューチェーンを含めたデジタル化を促す「デジタルトランスフォーメーション」を生産現場に提案することで、新しい付加価値を見出してまいります。

一方で、「M1000」を見据えて重要な経営課題の解決にも鋭意取り組みます。具体的には、製品の品質安定・採算の見える化とシナジーの実現・優秀な人材の確保と育成等を重点課題と位置付けています。

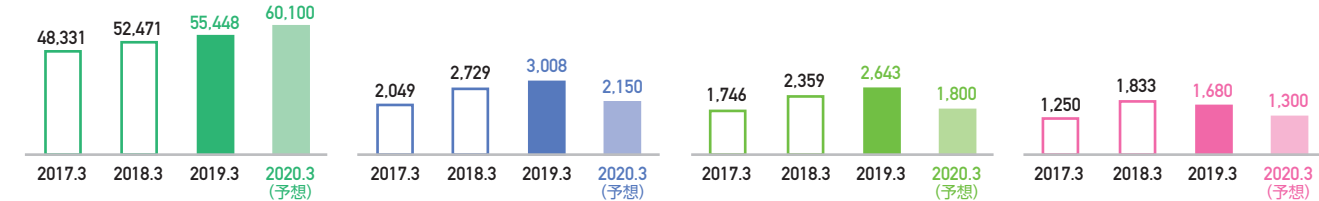
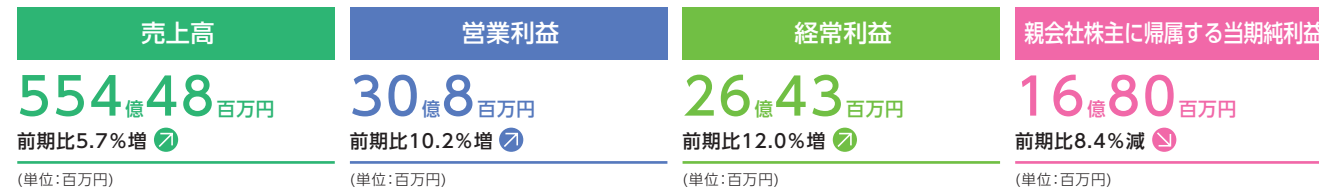
Q 株主様へのメッセージ

当社グループは、今期より、経営スローガンを従前の「仕組みを作る」から「高速PDCAを回す」に改めました。これは、これまでの「仕組み作り」を踏まえて、前出の「デジタルトランスフォーメーション」を的確にとらえて資源循環型の経営・技術を実現することを企図しております。

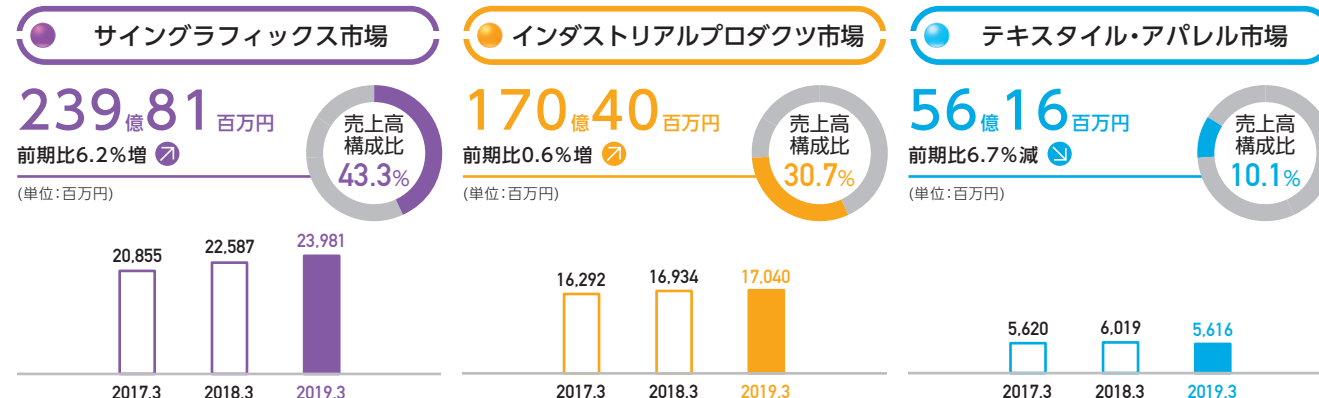
また、事業の持続的な成長と合わせて株主還元についても十分留意してまいります。2020年3月期の年間配当金は1株当たり15円(中間7.5円、期末7.5円)を予定しております。配当政策は、安定的かつ継続的配当を基本方針とし、利益の成長段階を踏まえて随時見直ししてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくご挨拶申し上げます。

連結業績ハイライト



市場別状況



広告・看板等のサイングラフィックス市場向け製品における売上高は、239億81百万円(前期比6.2%増)となりました。「UCJVシリーズ」が引き続き好調に推移していることに加え、インクやメディア等の消耗品関連も前期を上回る売上高を確保しています。

ノベルティや工業製品等のインダストリアルプロダクツ市場向け製品における売上高は、170億40百万円(同0.6%増)となりました。製品本体、インクとも、ほぼ前期と同水準の売上高を確保しています。

衣服や生地等のテキスタイル・アパレル市場向け製品における売上高は56億16百万円(同6.7%減)となりました。製品本体の売上高は前期から減少したものの、インクやメディア等の消耗品関連では前期を上回る売上高を確保しています。

国内拠点

本社・牧家工場
長野県東御市滋野乙2182番地3

加沢工場
長野県東御市加沢1333番地3

長野開発センター
長野県長野市北長池520番地1

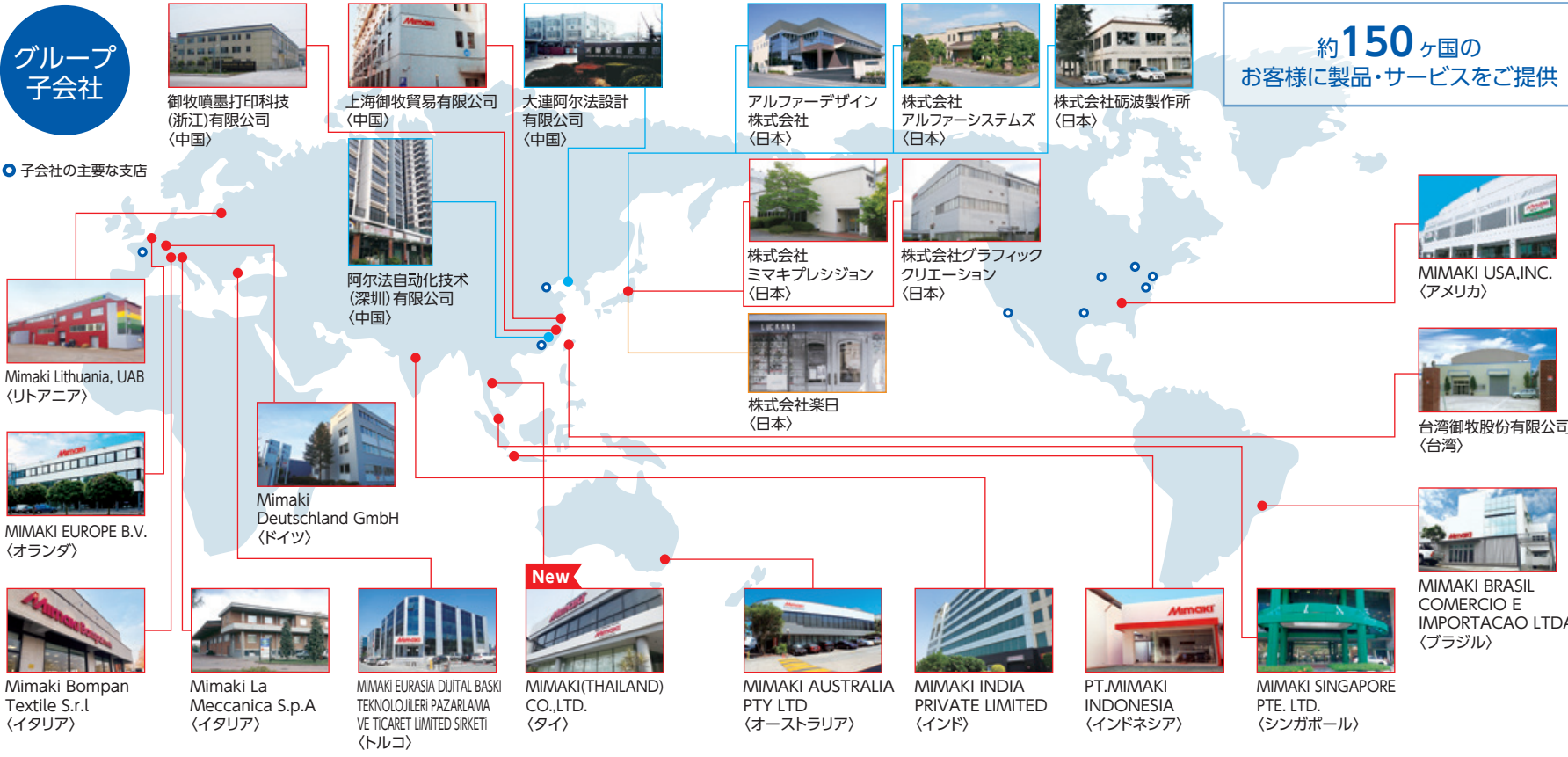
八王子開発センター
東京都八王子市北野町593番地6

JPデモセンター
東京都品川区西五反田7丁目22番地17
TOCビル6階

営業拠点
東京、大阪、札幌、仙台、長野、横浜、さいたま、西東京、北関東(宇都宮)、金沢、名古屋、京都、神戸、広島、四国(高松)、福岡

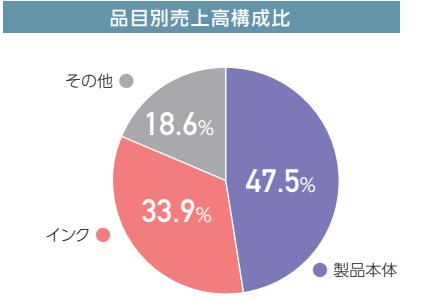
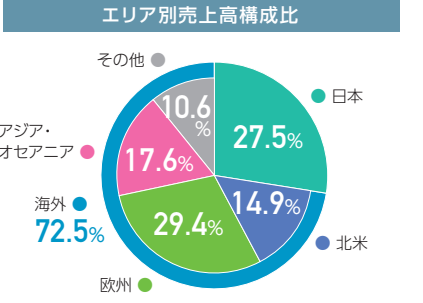
グループ
子会社

● 子会社の主要な支店

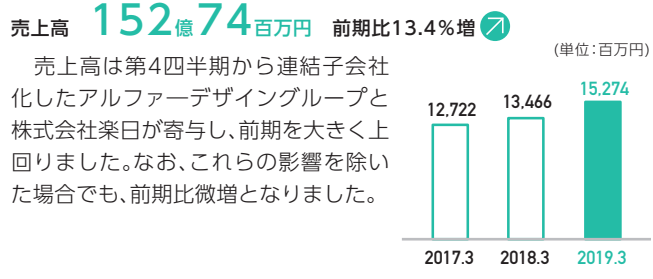


約150ヶ国の
お客様に製品・サービスをご提供

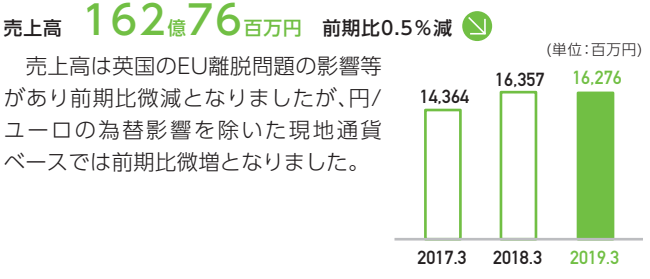
2019年3月期
連結海外売上高
401億73百万円
連結売上高に占める割合
72.5%



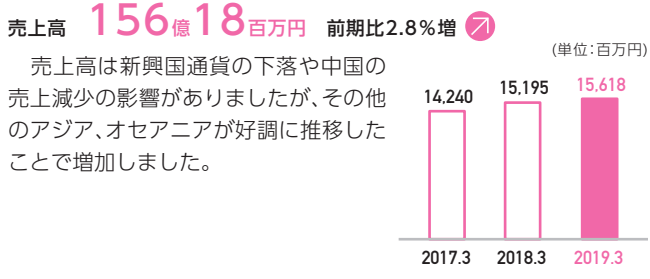
● 日本



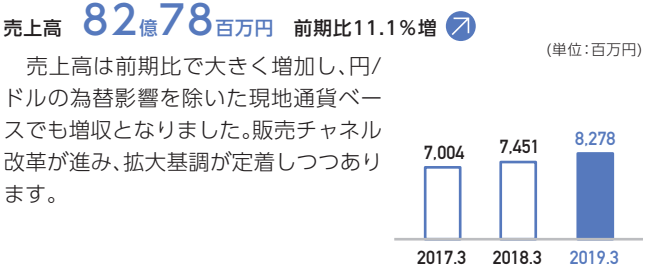
● 欧州



● アジア・オセアニア、その他



● 北米



「JFX200-2513 EX」販売開始

IP

2013年より販売している「JFX200-2513」の後継機種。半立体的で滑らかな2.5Dデータが簡単に作成できる新機能を搭載したほか、ホワイト同時プリントの速度が従来機種比200%に向上。高付加価値プリントと高生産性を兼ね備えた究極の大判フラットベッドUVインクジェットプリンタです。



JFX200-2513 EX

2019年5月発売

北・中南米エリアにおける販売施設の増強

販売ディーラーとエンドユーザーに対する充実したサポート体制を提供するため、2019年2月にロサンゼルスに大型テクノロジーセンターを、2019年4月にはサンパウロにTAラボセンターを開設しました。



ウルトラモデラーズ in TOKYOを開催

3D

JPデモセンター（五反田TOCビル）内で、ウルトラモデラーズがフルカラー3Dプリンタ「3DUJ-553」で制作した作品の展覧会を2019年3月15日に開催しました。



作者: 福井信明さん
作品名: 「森の果て。読書は沈む」

作者: 加茂恵美子さん
作品名: 「立体模写 黄道十二宮」

純正ウォームラミネーター「LA-140W Plus」「LA-160W Plus」販売開始

SG

看板などのサインージ製作時にプリント面を保護するフィルムを貼る、当社純正のウォームラミネーター。2017年11月に発売した「LA-140W」「LA-160W」の後継機種で、新機能「ラミネートカウンター」を搭載することでオペレーターのミスを防止し、お客様のサインビジネスを強力にサポートします。



LA-140W Plus LA-160W Plus

2019年4月発売

POP・店内装飾用デザインソフト「Simple POP」販売開始

SG

小売店に必要な各種POP、ウィンドウサインや店内装飾、さらにシールやステッカーなどの小物まで、テンプレートから簡単に作成できるデザインソフトウェア。オンデマンドで、目を引く店内装飾が作成できるとともに、「UCJV300 Series」と併せて使うことでプリントとカットが自動化できます。



2019年4月発売

FFF方式3Dプリンタ「3DFF-222」販売開始

3D

Sindoh社（韓国）との共同ブランド3Dプリンタ。形状サンプルや試作品の造形はもちろんのこと、当社フラットベッドUVプリンタと組み合わせて使うことで、お客様のプリントビジネスに役立つ様々な提案が可能となりました。



3DFF-222

2019年4月発売

マサチューセッツ工科大学が立ち上げた事業共同体への参加

米マサチューセッツ工科大学（以下、MIT）が立ち上げた事業共同体「ADAPT(Additive and Digital Advanced Production Technologies)」に創立メンバーとして参加しました。先進的な付加製造業の産業支援を目的として、3Dプリンタ等の技術を基礎とした次世代製造技術の研究と教育を行うもので、当社のUVフラットベッドプリンタ「UJF-7151 plus」と3Dプリンタ「3DUJ-553」をMIT内に設置し、AM*関連の授業や研究活動をサポートすることになりました。

*AM(additive manufacturing)、積層方式の3Dプリンタ等、材料を付加しながら造形する製法



UJF-7151 plus

3DUJ-553



タイ王国への販売子会社開設

販売活動のさらなる拡大に向けて、2019年3月に販売子会社を開設しました。タイ王国での販売店ネットワークを強化するとともに、販売店のサービストレーニングやユーザーサポートを充実させてまいります。



Drafting Plotter
ドラフティングプロッタ

Table listing drafting plotter models from 1985 to 1999, including MF-120, MG-110, MX-11/10, and MR-1600.

Cutting Plotter
カッティングプロッタ

Table listing cutting plotter models from 1987 to 2000, including MF-220C, CG-90SD, MI POP, and Vesta.

Inkjet Printer
インクジェットプリンタ(IJP)

Table listing inkjet printer models from 1996 to 2000, including JV-1300, Raster Link, and Tx Link.

2001

Table listing printer models from 2001 to 2004, including JV4-130/160/180, Tx2-1600, Raster Link Pro, and DM2-1810.

2002

Table listing printer models from 2002 to 2003, including Fine Cut for Corel and CG-100/130Lx.

2006

Table listing printer models from 2006 to 2009, including Mimaki Profile Master, JV5-130S/160S, JF-1610/1631, and UJF-605C II.

2004

Table listing printer models from 2004 to 2006, including Simple Cut and CG-160FX.

2008

Table listing printer models from 2008 to 2011, including Raster Link Pro5, IPF-1610B/1610B-U, Mimaki Profile Master II, and JF-1615plus.

2008

Table listing printer models from 2008 to 2011, including CF3-1631/1610, Simple Cut, and CG-75/130/160FX II.

2012

Table listing printer models from 2012 to 2014, including JFX500-2131, UJF-3042HG, JFX-1631, and UJF-7151 plus.

2010

Table listing printer models from 2010 to 2013, including FineCut8, RasterLink6, and CG-100SR II.

2016

Table listing printer models from 2016 to 2019, including TS500P-3200, TS30-1300, UJV55-320, and Mimaki Target Color Emulator.

2011

Table listing printer models from 2011 to 2015, including APC-130, CG-60/100SR III, and CFL-605RT.

2018

Table listing printer models from 2018 to 2019, including UCVJ300-75/107/130, Tiger-1800B Mk II, UCJV300-160, and TS55-1800.

2017

Table listing printer models from 2017 to 2019, including ArtiosCAD DS, CF22-1225, and Tiger-1800B Mk II.

“ LEDで硬化する
柔軟なUVインクは、
私たちのニーズに
ぴったりはまりました。 ”



Display Systems AustraliaのJohn Priviteraオーナー(左)と Anthony Crosettaプロダクションマネージャー(右)



Display Systems Australiaは、創業約30年のオーストラリアの会社です。ビジネス広告に適した携帯用バナー、展示用バナースタンド、展示用バナーなどの製造を行っています。

導入の背景

エコソルベント機の1台を同じタイプの2台に入れ替えたいと考えていました。生産量の増加は必須ですが、印刷品質も犠牲にはできません。また、伸張性があり印刷物にフィットするような柔軟インクを望んでいました。

製品を選んだ理由について

2台のUCJV300-160を導入しましたが、他のマシンの2倍の速度で稼働、また使用インクの量は非常に少なくて済むところが素晴らしいと感じています。速くて信頼性があり、インクも優れています。LED UVインクはメディアにぴったりと密着しており、お客様の印刷物に本物の質感を与えます。密着性、耐擦過性にも優れているため、ラミネートでの保護も必要ありません。UCJVに投入された新インクが、Mimakiへの投資の決定に大きな役割を果たしました。



導入の成果

UCJV300はインクコストや電力消費、印刷速度の面で経済的。価格帯も我々のようなビジネスに最適でした。プリントも色鮮やかで美しく、プリントとカットが1台でできます。予想をはるかに超えた性能で満足しており、特にUCJV300のホワイトが素晴らしいので、白色印刷が必要な方には導入をお勧めします。私たちがバナースタンド用に小さいサイズの購入を検討中です。

沿革

1975年	8月	有限会社ミマキエンジニアリング設立	2009年	1月	ISO14001 認証(審査登録)
1979年	3月	東京営業所開設	6月	上海御牧貿易有限公司設立	
1981年	5月	株式会社ミマキエンジニアリングに改組	7月	MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA設立	
1983年	12月	OEM向けA2フラットベッドペンプロッタRY-1003開発開始	2010年	8月	平湖御牧貿易有限公司設立
1985年	2月	「北斎」の商標で、A2フラットペンプロッタ販売開始	2011年	11月	PT. MIMAKI INDONESIA設立
1986年	3月	加沢工場操業開始	2013年	4月	京都営業所開設
	6月	大阪営業所開設	4月	MIMAKI AUSTRALIA PTY LTD設立	
	9月	名古屋営業所開設	4月	MIMAKI SINGAPORE PTE. LTD.設立	
1988年	6月	加沢工場増設完了に伴い、本社事務所移転	6月	神戸営業所開設	
1990年	4月	各営業所開設(福岡、広島、仙台、札幌)	7月	MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED設立	
			9月	四国営業所開設	
1993年	12月		2014年	10月	横浜営業所開設
1994年	1月	東京支社にショールームオープン	2015年	3月	東京証券取引所市場第一部に市場変更
1995年	7月	台湾御牧股份有限公司設立	5月	八王子開発センター開設	
	10月	金沢営業所開設	7月	株式会社ウィズテック吸収合併	
1999年	1月	ISO 9001 認証(審査登録)	7月	滋野ショールームオープン	
	9月	MIMAKI USA, INC. 設立	2016年	4月	MIMAKI EURASIA DIGITAL BASKI TEKNOLOJILERI PAZARLAMA VE TICARET LIMITED SIRKETI設立
2003年	1月	大阪支店にショールームオープン	7月	JPデモセンター開設	
	10月	長野開発センター開設	7月	TAラボセンター開設	
2004年	4月	株式会社ミマキプレジジョン設立	8月	IPラボセンター開設	
	4月	MIMAKI EUROPE B.V.設立	10月	Mimaki La Meccanica S.p.A を子会社化	
	4月	さいたま、熊本営業所開設	2017年	2月	Mimaki Lithuania, UAB設立
	5月	本社新社屋竣工、操業開始	6月	Mimaki Bompan Textile S.r.l.設立	
	6月	株式会社ウィズテックを子会社化	10月	北関東営業所開設	
2005年	4月	テクニカルコールセンター開設	2018年	10月	アルファーデザイン株式会社を子会社化
2006年	4月	株式会社グラフィッククリエーションを子会社化	11月	株式会社楽日を子会社化	
	8月	本社を長野県東御市滋野乙に移転	2019年	3月	MIMAKI (THAILAND) CO.,LTD.開設
2007年	3月	ジャスダック証券取引所上場	3月	西東京営業所開設	
	12月	御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司設立			
2008年	7月	Mimaki Deutschland GmbHを子会社化			

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、当社の事業概要、製品、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。



企業・IRサイト TOPページ

IRライブラリ

携帯電話やスマートフォンをお使いの方は右のQRコードからもアクセスできます。

アクセスはこちら
<https://ir.mimaki.com/>

公式SNSはこちら

- Facebook <https://www.facebook.com/mimakiengineering/>
- Youtube <https://www.youtube.com/user/MimakiPR/videos>
- Instagram https://www.instagram.com/mimaki_japan/

